

やのどう えま  
むかし話・矢の堂観音の絵馬

昔、畑の作物が食い荒らされる被害が発生したので、村人たちが番をしていると、ある晩美しい立派な馬が現れた。どの家の飼い馬かと調べても、誰も心当たりがない。なんとその馬は、矢の堂観音の絵馬から夜な夜な抜け出していたのだ。村の人は考え、毎日絵馬に草をやすることにしたが、貧しい百姓の宇吉は特に熱心に絵馬に草をやっていた。ある日、宇吉がいつものように絵馬に草を与えようとやっていると、与えた草が少しも減っていない。不思議に思って絵馬を見上げると、なんと絵馬から馬がいなくなっていた。このことは村中に知れ渡り、大騒ぎになった。



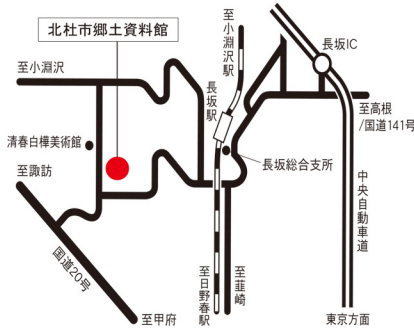
矢の堂観音と屋根下の馬の彫刻

いく月か過ぎたころ、宇吉の家に立派な馬が現れた。飼い主を探しても見つからなかったので、そのうち馬をつれて働きに出るようになった。馬は宇吉の言うことを良く聞いて働くので、宇吉もいっそう大事にかわいがった。ある日の仕事の帰り、馬の持ち主だという老人が現れた。宇吉は飼い主が見つかったことを喜び、働いてもらった礼を言って馬を返そうとすると、老人は大事に飼ってやってくれと宇吉に馬を与えた。

そのうちに仔馬が生まれたころ、突然宇吉の馬がいなくなりました。宇吉は毎日必死に探したが、とうとう馬は見つからなかった。同じころ、矢の堂の絵馬に馬が帰ってきたといううわさが流れた。

誰言うとなく、宇吉のとこの馬は、老人に変身した観音様がもたらしたのだと言い伝えるようになった。

交通・アクセス  
JR長坂駅よりバスで7分  
長坂ICより車で約10分



〒408-0036 山梨県北杜市長坂町中丸1996-2  
TEL : 0551-32-6498 FAX : 0551-32-6497  
http://www.city.hokuto.yamanashi.jp/

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)  
休館日 火、水曜日(祝日の場合木曜日)  
観覧料 高校生以上210円、小中学生100円

昔の道具クイズ答え

- ①馬用金ブラシ：馬をマッサージし、健康を保ちます。
- ②蹄鉄(ていつ)：馬のひづめは、人間で例えると爪にあたります。蹄鉄はくつやスパイクの役割をする道具です。
- ③馬用メガネ：馬の目を虫から保護するためのメガネです。

博物館を活用した 夏休み自由研究プロジェクト

北杜市郷土資料館

★調べてみよう①  
「昔のくらしと道具」



★調べてみよう②  
「馬と北杜市のくらし」



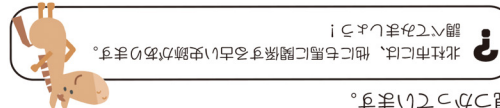
えまの歴史



昔の道具クイズ  
馬に関係する道具のクイズです。  
何に使う道具でしょう？



北杜で活躍した馬



北杜と馬の歴史



永井麻V遺跡

馬頭観音



北杜市内では、馬頭観音と呼ばれる馬の安全や健康を願って作られた石像を見ることが出来ます。これは、北杜市内の馬頭観音は数多さだけではない、見た目のバリエーションの豊かさが魅力です。北杜市の人にあって、馬は大事な動き手というだけでなく、家族のように大事な存在だったのです。

思ったお顔の観音様の頭に注目！馬のかわいい顔が乗っています。なでこんな姿をしているのか？

<夏の道具類を展示>



家の中には夏に使った道具類を展示しています。さて、何に使う道具か、どうやって使ったのか、実際にさわって、想像してみてください！

北杜市郷土資料館の建物内には、昭和初期の民家が復元されています。



民家展示  
北杜の家



家の玄関を入るとすぐに、かいます。

北杜市の人々の暮らしは、はるか昔から馬と共にありました。平安時代には御牧という朝廷直属の牧場が置かれ、良馬の産地として有名でした。永井原V遺跡からは、放牧地の区画と考えられる溝が見つかっています。

北杜市には、他にも馬に関係する古い史跡があります。調べてみましょう！

